



録画を配信

带状疱疹の公費助成を

町長 国の動向を注視し前向きに検討したい



笹原俊一議員

带状疱疹公費助成を

問 発症者を減らし、後遺症などで苦しむ人をなくすため公費助成を行うべきと考える。

町長 带状疱疹については重症化し長期間苦しまれる人もいることは承知している。当町の接種助成は国の動向を注視しながら前向きに検討していきたい。

問 昨年度、带状疱疹に罹患して町立病院を受診された方の人数は。
健康福祉課長 令和5年度に受診された方は男性7人、女性17人。



問 予防や早期治療

につながる情報提供を町民にどう伝えるのか。

健康福祉課長 健康づくり事業の中で早期治療の大切さ、感染症に負けない体づくり、免疫力を高める体づくりなどの講話を行うなど様々な機会を捉え、健康づくりに関する周知を継続していきたい。

放置空き家を増加させないために

問 ※1住まいのエンディングノートの周知をはかり年々増える放置空き家の減少につなげるべきと考えるがどうか。

町長 このノートの活用は、放置空き家の発生抑制や適切な管理につながるものと期待できるので、町ホームページ等に掲載し周知していきたい。

問 活用が広がる取り組みが必要と考える。
建設課長 他市町の事例など情報収集し、周知に努める。

※1住まいの将来を家族で話し合い放置空き家の減少につなげる目的で国土交通省が作成し公開した。



児童生徒の新しい相談窓口を

問 児童生徒の新しい相談窓口にタブレット端末を活用してはどうか。

教育長 端末を活用した相談窓口を開設することで、早期の支援や指導体制が構築できるものと考えている。運用の仕方など今後検討したい。

問 ※2子どもたちが犯罪から守るアプリが開発された。周知、啓発をはかつてはどうか。
教育長 情報収集に努め学校や保護者に周知したい。

※2主な効果は犯罪抑止、子の対話促進、子どもが加害者になることを防止することなど。AIを活用して画像の削除を促し保護者に通知される。

安心して遊べる公園を

問 子育てする家庭にとつて、安心して遊べる公園はとも大切と考える。現状は。

町長 町管理の都市公園は8カ所。4カ所に遊具があり、毎年専門業者が点検し安全性を確認している。

問 安心して遊べる公園のマップが欲しいとの声がある。保育園などで紹介するなど周知してはどうか。

建設課長 今後、マップを作成し必要な施設や保護者などへの周知方法も考えていきたい。

私もひとこと

ひ予早願
帯状疱疹にかかり、ひと月ほど苦しんだ。一日も防が大事だ。一日も助成をう。
(60代男性)